



令和7年度3学期が始まりました

校長 敦澤 雅規

令和8年が始まりました。この正月は家族や親戚と話をする機会も多かったのではないのでしょうか。短い冬休みでしたが、「今年は〇〇を達成するぞ!」などと、令和8年の抱負や新たな目標がもたらいいなと思っています。さらにはそれを家庭で語り合っていたら嬉しいです。さて、3学期は1年生がスキー移動教室、2年生は校外学習と、大きな行事もあります。行事は自他を大切に、互いに支え高め合う「共に学ぶ集団」としての支持的風土をつくるチャンスです。3年生は自らの手で自らの進路を切り拓く経験を積むこととなります。いずれも、大きく成長できる3学期だと考えています。生徒のみなさんの頑張りに期待しています。

1月14日(水)からの3日間、1年生が菅平高原でのスキー移動教室に出かけました。3日間とも、とてもよい天気でした。開講式では、私から3つの願いを伝えました。1つ目は、「宿舎では自分の役割を責任をもってやり遂げるとともに、お互いに支え合い協力し合って生活してほしい」です。3日間、食事会場への集合の時間や就寝の時間、自由時間のメリハリなど、お互いに声をかけ合い時間を守って行動することができていました。2つ目に「スキー講習では、辛い時や上手くいかない時もあるはず。そんな時は班員で励まし合い助け合ってやり遂げてほしい」です。ある人に感想を聞いてみると、「今まで知らなかった仲間の優しさを感じた」「また一緒にスキーをしに来たい」と言っていた人もいました。多くの方が最後まで頑張ることができたと思います。3つ目に、「多くの人に支えられて楽しみにしていたスキー教室ができるのだから、お世話になる人に感謝の気持ちをもてるようになろう」です。3日間、バスの運転手さんや宿舎の方々、インストラクターさん、看護師さん、旅行会社の添乗員さんなど、数えたらキリがないほどの方々にお世話になりましたが、多くの生徒が元気よく挨拶をしている場面をたくさん見ることができました。さすが三中の1年生だと感じました。これからも日頃の生活の中で感謝の気持ちを育てていってください。この3日間は、スキーの技術が向上したことはもちろん、1年生の心の成長の面でもとても有意義な3日間だったと思います。



道徳授業地区公開講座を行いました

1月22日(木)の5・6校時に、道徳授業地区公開講座を開催しました。5時間目の道徳の授業のあと、意見交換会の中で元全国小学校道徳教育研究会会長の生形 章(うぶかたあきら)様をお招きして、「道徳の授業の特徴と地域・家庭にできること」の演題で講演会を行いました。その中で、子どもとの関わり方について保護者・地域の方々に向けたお話がありましたので、いくつかご紹介します。今回は参観者の人数が少なく残念でした。ぜひ来年度はご都合をつけていただき、お気軽に意見交換会にお立ち寄りください。

＜特別の教科 道徳の学習から考える、家庭や地域の中での子どもたちへの対応＞

1. 自分ごととして考えさせる…学校のできごとやニュース(例えばいじめとか)等の話題について「もし自分だったら」を考えさせる
2. 押しつけない…指示ばかりしていると子どもの主体性は育たない。話し合って考えさせる。
 - ①発言を待つ ②聴いてあげる ③受け止める
 - ・「悪いところを直す」ではなく「可能性を見つけて良いところを伸ばす」
 - ・否定語ではなく肯定語で話す ex.間違えないように→正確にやろう
3. 評価してあげる…いろいろな角度から考えているか。自分ごととして考えているか。
 - ①他の子と比べない ②その子の良さをしっかりと見つけ、認め褒める
 - ③1回で決めつけない